

私には叶えたい夢があります。それはお父さんみたいになることです。私のお父さんは私が通っている学校の野球部の監督をしています。私は野球を教えているお父さんを見るといつも、

「すごいなあ、かっこいいなあ、私もあんな仕事がしたいなあ。」

と思います。そんな時に会った夢が体育の教師です。なぜかという、私はスポーツが得意で、自信もあったからです。私に夢ができた時、私はお母さんに一度相談してみました。するとお母さんは、

「体育の教師になるなら、勉強はもちろん必要だけど、どんな生徒にも平等に接しなければあかんよ。」

と言いました。その時私は二つのことを思いました。一つは、私は勉強が苦手で、今も学校の勉強についていけていません。それに私は自分の嫌いなことには、全力で取り組まず、好きなことだけ全力で取り組んでしまいます。まずは私は、それを直さなければならないと思いました。そう思ったとき、私の所属する陸上部のコーチに言われた、

「自分の好きなことだけをしていてもあかん。苦手なこともなんでもチャレンジすることが大事なんやで。」

という言葉思い出しました。この言葉どおり、苦手なことにも挑戦することが、私の夢を実現させるための第一歩なのだと思います。

二つ目は、なんでも平等に扱うことです。

平等に扱うのは難しいようですが、私には、日頃から意識していることがあります。

「平等に接することの出来る子はリーダーに向いている。」

とお父さんも言っていました。

私は日頃から、年齢関係なくみんな同じように接したり、誰にでも優しく接することを心がけています。また、私はリーダーシップを取るのが好きです。小学校六年生の時の駅伝大会で、私はそのチームのキャプテンを務めていました。コーチに、

「チームのキャプテンをしてみないか。」

と言われ、私はその時すぐに、

「はい！やらせてください！」

と答えたのを覚えています。とても嬉しくて、初めてリーダーに任命して下さったコーチには今も感謝でいっぱいです。残念ながら、その大会は新型コロナウイルスの影響で中止になってしまいましたが、それから私はリーダーシップを取るのが好きになりました。そのため、クラスの学級委員にも立候補し、1年生のときから、務めています。お父さんにはよくこう言われます。

「クラスのリーダーになるなら、いいリーダーにならなあかん。」

私は確かにそうだなと思いました。誰にでも平等に接し、クラスみんなが仲良くしていけるように考えて行動しないといけないと思います。私は平等に接していくことでクラスみんなに信頼されるリーダーになりたいです。

体育の教師は授業をしているだけではなく、部活の顧問もしています。私は一生懸命努力している生徒を世界に羽ばたかせて、世界の頂点で輝かせたいです。これが私の夢です。

大きな夢を持つことは大事だと思っています。どんなに周りから無理だろうと言われても私は諦めません。絶対に実現させます。

私がこの夢を持ち、実現したいと思ったのも、両親をはじめ、たくさんの方々のおかげだと思っています。しっかり将来に向かって励んでいきたいと思っています。